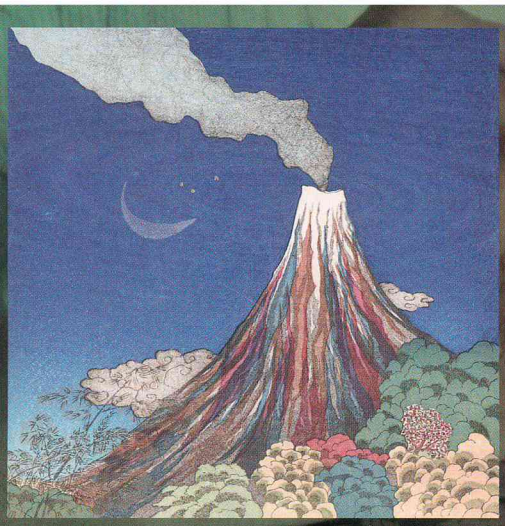
稀代の版画師

立原位貫 木版画展





《不二》 平成20(2008)年



《宮本武蔵と巨鯨 歌川国芳》 平成16(2004)年

平成27(2015)年7月、惜しまれながらこの世を去った立原位貫。ジャズのサックス奏者として活動していた立原は、25歳のとき、一枚の浮世絵に深い感銘を受け、江戸時代と同じ手法、絵の具、紙を独学で研究、再現し、それらを使って江戸時代の生き生きとした色彩を現代によみがえらせました。真の意味での浮世絵の復刻を成し遂げた唯一の画家といえます。また、オリジナルの創作版画では、詩情あふれる世界を作り上げ、夢枕獏や江國香織などの著作挿画も手掛けたことでも知られています。

本展では、没後3回忌を迎える節目の年として、津山市のM&Y記念館の充実した立原位貫コレクションの中から、復刻浮世絵版画、オリジナル版画、挿絵、版木などの資料100点余りを展示し、江戸の浮世絵に学んだ立原が私たちに伝えたかった「日本の木版画の美しさ」を改めて紹介します。



《インテンション》 平成8(1996)年



《東海道五拾三次之内・桑名 歌川広重》 平成3(1991)年



《猫のひな祭り》 平成9(1997)年



《三浦荒男乃助(七代目市川団十郎)初代豊国》 平成4(1992)年



《江戸の花五ツ鳰金》 平成3(1991)年



《ブルー・レイ》 平成20(2008)年

関連イベント

■ オープニング スペシャルギャラリートーク 要観覧料

日 時：6月2日(金) 10時～

講 師：立原安位子 氏(アルテ・ビンクロ位貫代表)

■ ギャラリートーク 要観覧料

日 時：6月11日(日)、7月16日(日) 各14時～

講 師：豊福恒弘 氏(M&Y記念館代表)

次回展覧会案内

水森亜土 ～アドちゃんのクリエイション展

会 期：7月22日(土)－9月3日(日) 会期中無休



■ JR伯備線新見駅からタクシーで約5分
徒歩で約10分(徒歩 ——)

■ 中国自動車道新見インターから約7分

■ 新見美術館までの順路(——)

■ 無料駐車場があります(乗用車30台・バス2台)

新見美術館
NIIMI MUSEUM OF ART
〒718-0017 岡山県新見市西方361
TEL・FAX (0867)72-7851
http://www.city.niimi.okayama.jp/usr/art/